

(仮訳)

日米豪印によるインド太平洋ロジスティクス・ネットワークを推進するための実働訓練
の実施

2025年12月16日

12月8日から12日、日米豪印は、グアムのアンダーセン空軍基地で行われたクリスマス・ドロップのマージンにおいて、日米豪印インド太平洋ロジスティクス・ネットワーク（IPLN）の一環として、初の実働訓練（FTX）を成功裏に実施しました。

IPLNは、インド太平洋全域における大規模自然災害に対する文民の対応を、より迅速かつ効率的に支援し、人命を救い、復旧活動を促進し、地域のパートナーを支援するため、日米豪印が共有するロジスティクス能力を活用することを可能にするイニシアティブです。

このFTXは、航空自衛隊C-130H輸送機への搭乗を含む訓練活動を通じて、日米豪印の災害対応能力を強化しました。また、FTXは日米豪印の能力の相互運用性と連携に焦点を当てました。この能力は、地域のパートナーが必要としている時に、より効果的に支援するという日米豪印の目標にとり重要なものです。

2025年4月に実施されたIPLN机上演習（TTX）と合わせて、このFTXは、地域の課題に対処し、自由で開かれたインド太平洋を確保するための実質的な協力を強化するという日米豪印のコミットメントを反映したものです。今後、机上演習、実働訓練、信頼醸成措置、専門家交流を含む、定期的なIPLNの活動を検討する予定です。